

OUTDOOR

あそびーくる

VOL.05

巻頭特集

森と湖のキャンプ



第2特集

GO TO THE BEACH

サーファーズ・ビークル&波乗りライフ



第3特集

旅、ノマドワーク
バンから始まる暮らし

それぞれの
VANLIFE



美しい曲面を描くうつわ。ブナコの独自製法と丁寧な手作業が生み出す、しなやかで繊細なフォルムが魅力だ。2012年には青森県内初のグッドデザイン・ロングライフデザイン賞も受賞している。ポウル小 5000円〜。

50年以上の実績と技術
多くの人が求められる
BUNACOの魅力



1番人気のティッシュボックスケース SWING。四角い箱をブナコ得意の曲線で包み込むデザインは、やわらかくインテリアになじむ。8000円〜。(左上) テーブルウェアはポウル、プレート、トレイなど各種を用意。ナチュラル、ブラック、ダークブラウンの3色。(上) ルームランプも種類が豊富。天然木の木目から透過する、夕日のように赤みを帯びた光も特徴だ。(左) 他にもスピーカーなどのインテリアグッズや、スピーカーも製造。スピーカーはブナ材の吸音性能により、雑味の無いクリアな音が楽しめるという。

木々とのふれあい
ブナを使ってのうつわ作りを体験



広々としたスペースで熟練の職人さんにレクチャーしてもらいながら、うつわ作りに挑戦。ブナのテープを巻き重ねたら、立ち上げて成形していく。成形には湯のみ茶碗を使用。圧のかけ方によって形が変わってくる。形ができたら接着。木の隙間に入り込みやすいよう、水で薄めた木工用ボンドを使用する。製作体験はここまで。残りは職人さんが仕上げで自宅まで届けてくれる。
●うつわ作り体験：時間は10:00〜と14:00〜、各回90分。うつわ1つにつき8000円

BUNACO ブナコ西目屋工場 >> 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字橋本196
☎ 0172-88-6730 www.bunaco.co.jp



今回、製作体験で訪れた白神山地の玄関口に位置する西目屋工場。丁寧に手作りされた製品は癒しの空間を演出するだけでなく、作品のスタイリッシュな造形にも定評がある。

きる。朋花サンは、思いもよらない製法に驚き、不安を感じながらも製作にチャレンジ。とくに成形はコツをつかむのが難しかったが、少しずつ形ができていくさまは感動的だったという。さまざまなお品に囲まれたおしゃれなカフェも併設しているこちらの工場。白神山地とともに、ぜひ訪れてみたいスポットだ。

この製法により、割れやゆがみが生じることなく、さまざまなサイズやデザインのもの自在に作り出すことができる。無駄を生まないエコなものづくりとスタイリッシュなデザインは、海外からも高く評価されている。ブナコの西目屋工場では、この独自製法によるうつわ作りを実際に体験で

成形したあとは、ボンドで接着してしっかりと乾燥させ、丁寧にバテ埋めとペーパー研磨を行う。バテには製造過程で出るブナの粉が利用されている。最後にウレタン塗装で仕上げるが、とくに食器類は防水性を高めるため、何度も塗装と研磨を繰り返し、丁寧に仕上げていく。

青森県はブナの備蓄量が日本一といわれている。しかし一般に、ブナは水分が多く狂いやすいなどの理由で、建築や加工用資材としては避けられてきた。木へんに無と書く漢字にも表れているように、何の約にも立たない木だと思われていたのだ。そんなブナ材を有効活用するため、1956年に考案されたのが、ブナコの独自製法だ。

まずは、ブナを大根のかつらむきの容量で1mmの厚さにスライスし、テープ状にカットする。このブナのテープをコイルのようにぐるぐると巻き重ねる。それをスライドさせるように立ち上げ、角度やカーブをつけて立体的な形を作っていく。力加減が難しく、熟練の技術が必要となる。